

伝えたい

# まちの遺産

はねそ  
羽根曾踊り

―我が町に残る盆踊り―

夏の風物詩のひとつである盆踊り。代々受け継がれてきたその唄と踊りには、その土地の風俗が素朴に表現され、「心のふるさと」がよみがえってきます。

## 【盆踊りの起源】

古くから受け継がれてきた盆踊りには、仏教行事に起源をもつものが多く、約千年前の平安時代、空也上人により始められた「念仏踊り」が祖霊祭などのお盆の行事と結びついていったといわれています。お寺の境内や広場にやぐらを立て、音頭取りの唄に合わせて周囲を回りながら踊るといった一般的な形式が定着したのは、室町時代頃（約六百年前）だといわれています。

## 【南越前町の盆踊り】

町内に残る代表的な盆踊りとしては、「今庄羽根曾踊り」と「上野羽根曾踊り」があります。それぞれに踊りの発祥や形態が異なっています。

## 【今庄羽根曾踊り】

現在の藤倉山の中腹にあった光明聖寺の仏前で奉納された稚児の舞が発端とされ、千年以上の歴史があります。テンポがおそくゆったり



と優雅な踊りは、古典

的な奉納の舞の名残りをとどめ、武士・僧侶・町人などいりとりどりの衣装で踊る様子は、江戸時代に宿場町として賑わった今庄の光景が思い浮かべられます。

一方、「上野羽根曾踊り」は、踊りのテンポがはやく活発で、踊りの輪が一気に活気づきます。毎年お盆には、上野区栄泉寺の境内で夜通し踊られますが、踊りの前奏曲ともいえる「どら」という独特の唄とかけ声があり、唄いながら徐々に会場へと移動し輪になっていきます。村の暮らしや男女の心情が素朴に表現されており、村の娯楽とその結束を強める役割を果たしていたのでしよう。

## 【次世代に繋ぐべき「心のふるさと」】

これらの盆踊りは、現在も各保存会を中心とした熱心な普及活動により古い時代の姿を今に残し、地域のアイデンティティを育んできました。

社会や生活様式の変化により継承・活性化が難しくなっていますが、我々の先祖たちが、文字に頼らず体で記憶し伝えてきた伝統文化を消滅させないよう守っていききたいものです。



来月の「街道浪漫今庄宿」に向け練習する子供たち(今庄羽根曾踊り保存会こども教室)

## パーソナルトレーニングのススメ

私たち指導員が全力でサポートします!



## ウォーターランド通信

ウォーターランド南条 ☎ 47・3711

皆さんは「運動してダイエットしたい!」とか「腰や膝の痛みをなんとかしたい」「今やっているスポーツがもっと上達したい!」と思っただことはないでしょうか。

ところが、トレーニング方法が分からずにかえって体を痛めてしまったり、トレーニングをしても成果が出なかつたりして挫折する方が多いように思われます。

ウォーターランド南条では、専門の指導員が一人ひとりに合ったトレーニングメニューを作成し、希望があれば、定期的にマンツーマンで指導(パーソナルトレーニング)させていただきます。

## パーソナルトレーニングまでの流れ

**A** トレーニングが初めてであることを伝えます。

**B** 簡単なカウンセリングを実施して目標を決めます。

**C** 基本的なトレーニングを実施して今後のメニューを作成します。

**D** 個別メニューに移行し、マンツーマンでコンディショニングを整えながらトレーニングを進めていきます。

※A〜Cは入館料のみでご利用できますが、Dは有料になります。